

『ALWAYS 三丁目の夕日』スタッフ×「ほぼ日刊イトイ新聞」の人気連載

# ボクは坊さん。

仏教伝来のシルクロードで“お坊さん”映画！

北京・上海につづく中国第三の映画祭

第2回シルクロード国際映画祭で日本映画“初”のGALAプレミア上映決定！

三蔵法師に劣らない(?)主演・伊藤淳史の“美しい横顔”新ビジュアルも解禁！

24歳で突然、住職になった白方光円（伊藤淳史）が、想像以上に奥深い“お坊さんワールド”に足を踏み入れ、失敗しながらも成長していく姿を描いた映画『ボクは坊さん。』。この度、10月24日の公開を前に、9月22日より中国・福州で開催される第2回シルクロード国際映画祭のオープニング上映作品としてGALAプレミア上映されることが決定した。

シルクロード国際映画祭は、中国が北京・上海に次ぐ映画祭に育てるべく、昨年始まった、中国電影電視局の重点プロジェクトになっている注目の映画祭。昨年の第1回は、陸のシルクロードの拠点・西安で開催、第2回目の今年は海のシルクロード拠点である福州で開催される。今年も多数の映画人や各国大使が招かれ、華やかに開催される予定だ。

『ボクは坊さん。』が上映されるのは、第1回映画祭では「\*\*\*\*\*」が上映されたGALAプレミア部門で、日本映画としては初めて特別招待の荣誉。シルクロードを通して日本に伝来してきた仏教が日本に定着し、現代日本人の心に響く映画になった『ボクは坊さん。』が、中国に逆ルートで上陸するわけだ。

そして、このたび解禁された新ビジュアルでは、主演・伊藤淳史が美しい横顔を披露。これまで使用されていたビジュアルでは、お坊さんの“後ろ頭”だけだったので、「この坊主頭は一体誰？」という問合せもあり、この美しい坊主姿は話題を呼びそう。映画の原作者でモデルの僧侶・白川密成さんが「本物のお坊さんのような佇まい！」と太鼓判を押した伊藤淳史の坊主姿、シルクロードを旅した「西遊記」の三蔵法師にも劣らない、見るだけでご利益のありそうな美しい頭の形も、ぜひ映画祭で海外の観客に見てもらいたいものだ。

現地には真壁幸紀監督、安藤親広プロデューサーが参加予定。果たして、シルクロード地域の観客に『ボクは坊さん。』はいったいどんな感動を与えるだろう。



出演：伊藤淳史、山本美月、溝端淳平、濱田岳、松田美由紀、イッセー尾形

監督：真壁幸紀 脚本：平田研也 原作：白川密成『ボクは坊さん。』（ミシマ社）

主題歌：「Today, Tonight」吉田山田（ポニーキャニオン） 企画・制作プロダクション：ROBOT

製作：映画「ボクは坊さん。」製作委員会 配給：ファントム・フィルム (C) 2015 映画「ボクは坊さん。」製作委員会

公式HP：bosan.jp

10月24日(土)より、全国ロードショー

10月17日(土)より、四国エリア先行ロードショー